

令和6年度
第1回浜松市歯科保健推進会議



健康福祉部 健康増進課

令和6年度 第1回浜松市歯科保健推進会議

日時 令和6年7月25日(木) 午後1時30分～

場所 浜松市口腔保健医療センター 講座室

次 第

I 開会

II 議題

- 1 令和5年度歯科口腔保健事業実績
- 2 口腔保健支援センター関連事業実績
- 3 歯科口腔保健推進に関する浜松市の取組
- 4 歯科保健の推進に関する委員のご意見
- 5 令和6年度歯科保健事業計画

III その他

IV 閉会

浜松市歯科保健推進会議 委員名簿

(敬称略、五十音順)

氏 名	所 属
池谷 志保	特定非営利活動法人 静岡県歯科衛生士会 理事
○ 磯部 智明	一般社団法人 浜松市医師会 副会長
稲川 弘子	ヘルスポランティア活動連絡会
小田 史子	浜松市手をつなぐ育成会 副会長
北村 庄吾	浜松市介護支援専門員連絡協議会 副会長
◎ 木村 裕一	一般社団法人 浜松市歯科医師会 会長
才川 隆弘	一般社団法人 浜松市歯科医師会 副会長
鈴井 浩子	浜松民間保育園園長会 理事
野寄 秀明	一般社団法人 浜松市薬剤師会 副会長
村上 祐介	一般社団法人 浜松市歯科医師会 副会長

◎ 会長

○ 会長職務代理者

任期：令和4年4月1日から、令和7年3月31日まで

【事務局】

平野 由利子	健康福祉部 医療担当部長（口腔保健支援センター長）
渥美 雅人	健康福祉部 健康増進課長
小笠原 雅美	健康福祉部 健康増進課長補佐
伊藤 梓	健康福祉部 健康増進課 口腔保健医療センター 所長
藤田 亮子	健康福祉部 健康増進課 口腔保健医療センター 主幹
戸谷 由里	健康福祉部 健康増進課 口腔保健医療センター 副技監
川瀬 真由	健康福祉部 健康増進課 口腔保健医療センター

【関係課等】

榊原 克人	健康福祉部 障害保健福祉課長
坂本 田佳子	健康福祉部 高齢者福祉課 医療・介護推進担当課長
谷口 弘記	健康福祉部 介護保険課長
栗田 豪	健康福祉部 国保年金課長
板倉 称	健康福祉部 参与
西崎 公康	健康福祉部 健康医療課長
大橋 泰仁	こども家庭部 幼保運営課長
原川 知己	ウェルネス推進事業本部 副本部長
小松 弓美	学校教育部 健康安全課長
竹村 和枝	中央健康づくりセンター 所長
鈴木 勝己	浜名健康づくりセンター 所長
櫻井 政男	天竜健康づくりセンター 所長

II 議題

1 令和4年度歯科口腔保健事業実績

(1) 全区実績

事業名	令和5年度		令和4年度		前年比	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数

ア 妊娠期・乳幼児期

妊婦歯科健康診査		2,458人		2,508人		△ 50人
歯科相談（全年齢）	74回	1人	75回	1人	△1回	0人
電話相談		79人		167人		△ 88人
1歳6か月児歯科健康診査	183回	5,201人	186回	5,357人	△3回	△ 156人
2歳児歯科健康診査（教室あり）	99回	949人	99回	886人	0回	63人
2歳児歯科健康診査（健診のみ）	99回	644人	99回	725人	0回	△ 81人
3歳児歯科健康診査	33回	4,877人	42回	4,955人	△9回	△ 78人
フッ化物洗口（幼稚・保育・こども園）	106園	4,698人	94園	3,694人	12園	1,004人
口を育む教室（子育て支援ひろば）	60回	1,003人	60回	758人	0回	245人
（保育所・幼稚園）※媒体貸出	162園	5,580人	117園	6,470人	45回	△ 890人
歯科健康教育（母子）	26回	320人	23回	230人	3回	90人
親子すこやか相談	112回	345人	112回	335人	0回	10人
歯と口の健康週間事業（総参加者数）	3会場	1,617人	3会場	1,069人	-	548人

イ 学齢期

学校歯科健康診断		58,818人		60,100人		△ 1,282人
歯科健康教育（小・中・高等学校）	24回	1,194人	14回	718人	10回	476人

ウ 成人期

ママのための生活習慣病予防教室	3回	52人	1回	5人	2回	47人
歯周病検診		4,810人		5,245人		△ 435人
成人歯科健康教育	4回	90人	4回	115人	(同)	△ 25人
市民公開講座	2回	157人	2回	120人	(同)	37人

エ 高齢期

成人歯科健康教育	69回	1,325人	63回	942人	6回	383人
口腔機能向上支援事業	38回	545人	32回	497人	6回	48人
歯科訪問診査		36人		37人		△ 1人
健康長寿のための口の健康づくり訪問		4人		12人	-	8人
訪問歯科相談（全年齢）	6回	6人	3回	3人	3回	3人

オ 障がい者の歯科

心身障がい者（児）歯科診療	140日	1,233人	137日	1,071人	3日	162人
障がい者施設歯科健診	51施設	990人	46施設	910人	5施設	80人

カ 状況に応じた歯科口腔保健医療

休日救急歯科診療	73日	1,015人	72日	870人	1日	145人
----------	-----	--------	-----	------	----	------

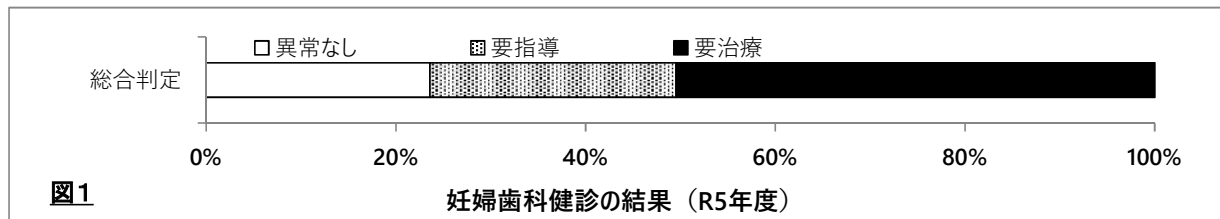
(2) 各事業別詳細報告

ア 妊娠期・乳幼児期

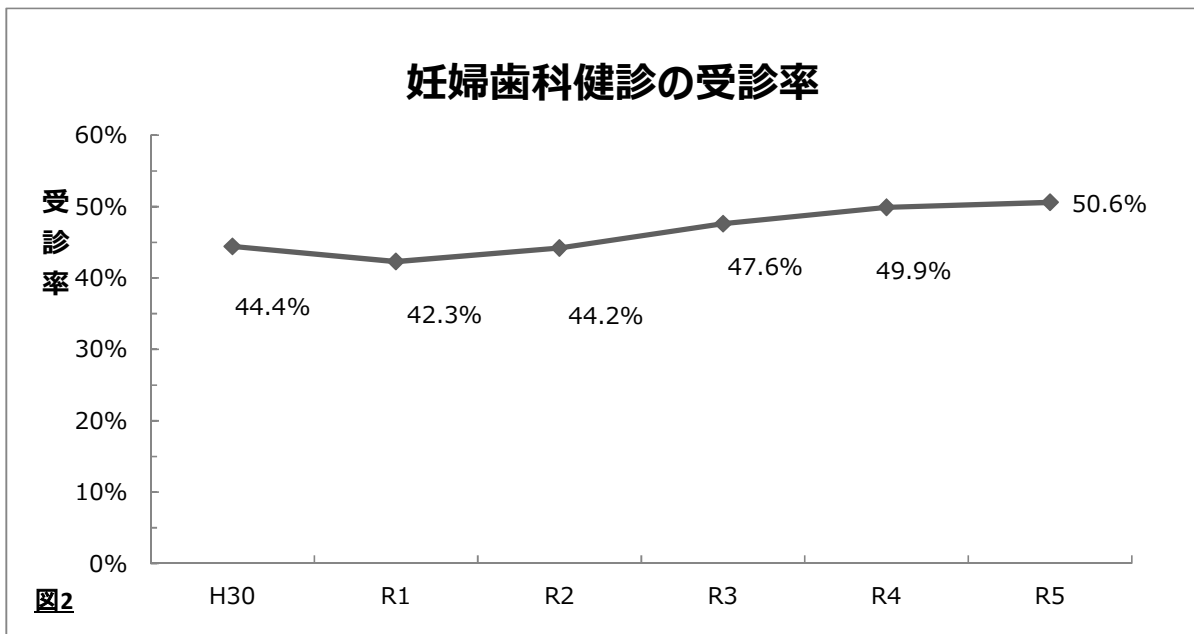
(ア) 妊婦歯科健康診査

・妊婦（主に妊娠16～31週）を対象に健康診査と歯科保健指導を実施（個別健診：委託）

		浜松市	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区
対象者数		4,862人	1,583人	964人	543人	718人	414人	580人	60人
受診者数		2,458人	799人	496人	277人	355人	220人	289人	22人
受診率		50.6%	50.5%	51.5%	51.0%	49.4%	53.1%	49.8%	36.7%
定期的な歯科検診の受診率		44.3%	47.9%	39.5%	46.9%	45.6%	40.5%	41.2%	40.9%
歯間部清掃用器具使用率		52.7%	55.7%	49.4%	53.1%	52.4%	51.8%	50.5%	59.1%
むし歯のある者の割合(有病者率)		32.8%	31.9%	33.9%	33.2%	34.1%	30.0%	32.2%	50.0%
一人平均未処置むし歯数		1.0本	0.9本	1.0本	1.0本	1.1本	0.8本	1.0本	1.0本
歯石沈着者率		71.9%	71.0%	72.6%	75.8%	72.7%	65.9%	73.4%	68.2%
歯周疾患	なし	621人	226人	113人	68人	79人	60人	70人	5人
	歯肉炎	999人	342人	185人	103人	153人	81人	124人	11人
	歯周炎	838人	231人	198人	106人	123人	79人	95人	6人
	要治療(%)	34.1%	28.9%	39.9%	38.3%	34.6%	35.9%	32.9%	27.3%
総合判定	異常なし	580人	196人	113人	61人	85人	49人	70人	6人
	要指導	638人	223人	122人	63人	101人	52人	72人	5人
	要治療	1,240人	380人	261人	153人	169人	119人	147人	11人
	要治療(%)	50.4%	47.6%	52.6%	55.2%	47.6%	54.1%	50.9%	50.0%



・要治療の者の割合は、西区が最も高く、中区と南区で低い傾向だった。



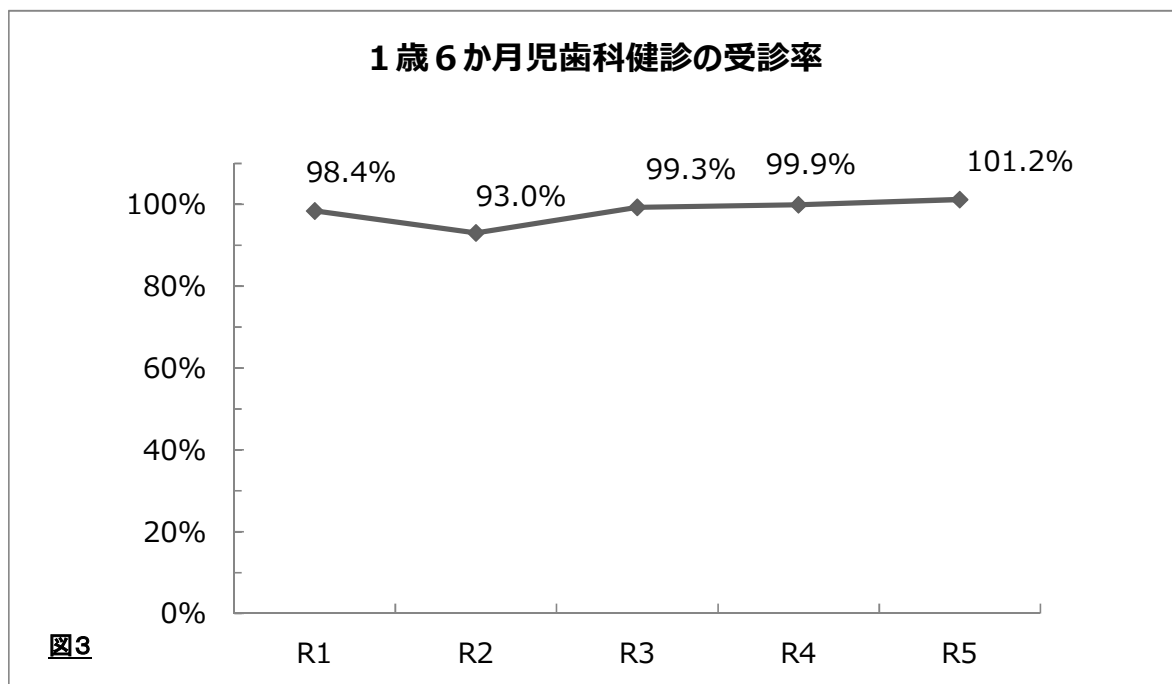
妊婦歯科健診は微増傾向が続いている。

(イ) 1歳6か月児歯科健康診査

・1歳6か月～8か月児を対象に、健康診査、相談を実施（集団健診）

	浜松市	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区
対象者数	5,138人	1,694人	958人	630人	649人	423人	703人	81人
受診者数	5,201人	1,701人	968人	653人	654人	425人	715人	85人
受診率	101.2%	100.4%	101.0%	103.7%	100.8%	100.5%	101.7%	104.9%
むし歯のない者	5,164人	1,690人	962人	652人	642人	423人	710人	85人
むし歯のある者	37人	11人	6人	1人	12人	2人	5人	0人
むし歯のある者（有病者率）	0.7%	0.6%	0.6%	0.2%	1.8%	0.5%	0.7%	0.0%
未処置歯数の合計（C）	104本	27本	25本	3本	28本	6本	15本	0本
処置歯数の合計（O）	0本	0本	0本	0本	0本	0本	0本	0本
要観察歯数の合計（CO）	208本	54本	19本	27本	49本	31本	19本	9本
一人平均むし歯数（C+O）	0.02本	0.02本	0.03本	0.00本	0.04本	0.01本	0.02本	0.00本
一人平均要観察歯（CO）数	0.04本	0.03本	0.02本	0.04本	0.07本	0.07本	0.03本	0.11本
軟組織の異常	645人	273人	99人	89人	95人	37人	47人	5人
不正咬合	539人	199人	95人	67人	62人	47人	54人	15人

・むし歯がある者の割合は0.7%程度である。



1歳6か月児歯科健診は高い受診率となっている。

(ウ) 2歳児歯科健康診査

・2歳0か月～11か月の児を対象に、歯科健康診査を実施（集団健診）

	浜松市	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区
受診者数	1,593人	462人	251人	192人	226人	195人	232人	35人
受診者数（教室参加）	949人	272人	155人	113人	137人	129人	132人	11人
受診者数（健診のみ）	644人	190人	96人	79人	89人	66人	100人	24人
むし歯のある者	20人	2人	3人	1人	4人	3人	4人	3人
むし歯のある者（有病者率）	1.3%	0.4%	1.2%	0.5%	1.8%	1.5%	1.7%	8.6%
一人平均要観察歯（CO）数	0.06本	0.02本	0.04本	0.04本	0.06本	0.10本	0.09本	0.14本
要観察歯がある者（CO者率）	3.3%	2.2%	2.0%	2.6%	3.5%	4.6%	5.2%	11.4%

・完全予約制で実施している。

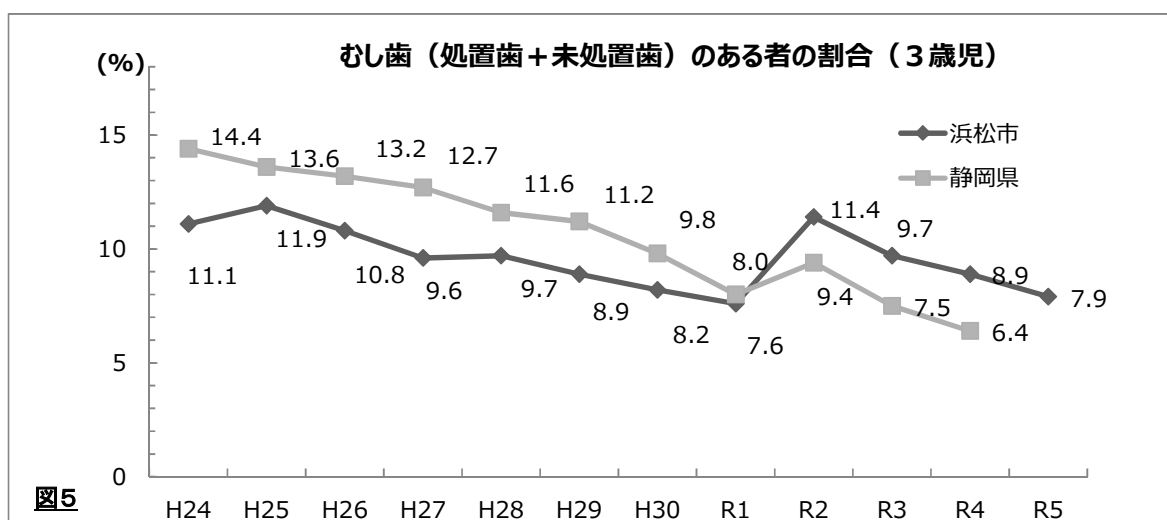
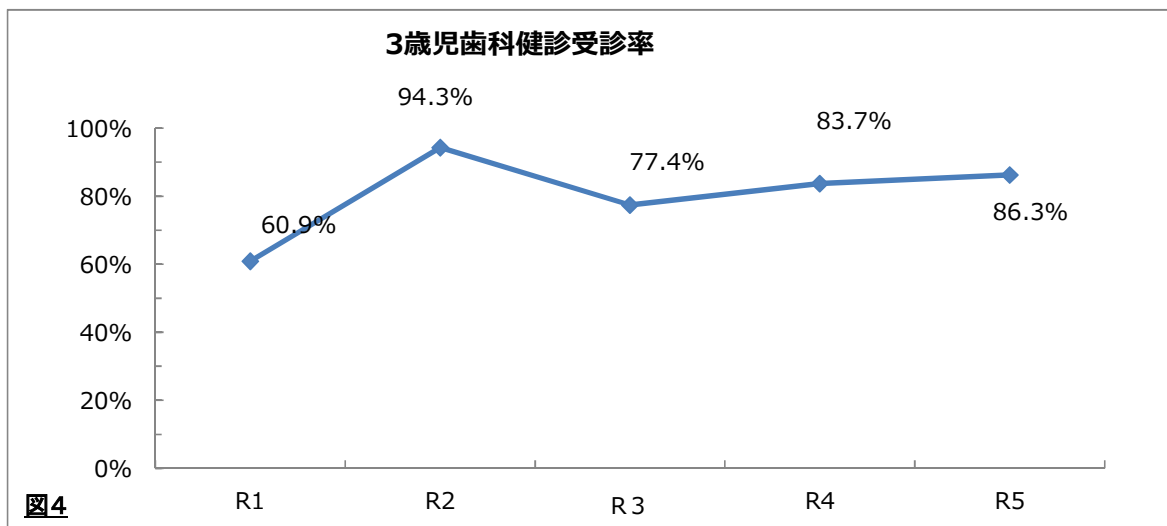
(エ) 3歳児歯科健康診査

・3歳0か月～11か月児を対象に、健康診査、相談を実施（集団健診を個別健診に振替えて実施）

	浜松市	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区
対象者数	5,651人	1,677人	1,029人	686人	728人	605人	836人	90人
受診者数	4,877人	1,380人	856人	602人	603人	508人	839人	89人
受診率	86.3%	82.3%	83.2%	87.8%	82.8%	84.0%	100.4%	98.9%
むし歯のない者	4,494人	1,266人	783人	556人	547人	471人	792人	79人
むし歯のある者	383人	114人	73人	46人	56人	37人	47人	10人
むし歯のある者（有病者率）	7.9%	8.3%	8.5%	7.6%	9.3%	7.3%	5.6%	11.2%
むし歯の数	1,169本	407本	189本	158本	166本	89本	123本	37本
うち（未処置歯）	(971本)	(327本)	(155本)	(135本)	(131本)	(73本)	(115本)	(35本)
（処置歯）	(198本)	(80本)	(34本)	(23本)	(35本)	(16本)	(8本)	(2本)
一人平均むし歯数	0.24本	0.29本	0.22本	0.26本	0.28本	0.18本	0.15本	0.42本
うち（未処置歯）	(0.20本)	(0.24本)	(0.18本)	(0.22本)	(0.22本)	(0.14本)	(0.14本)	(0.39本)
（処置歯）	(0.04本)	(0.06本)	(0.04本)	(0.04本)	(0.06本)	(0.03本)	(0.01本)	(0.02本)
一人平均要観察歯（CO）数	0.18本	0.18本	0.24本	0.13本	0.22本	0.23本	0.09本	0.18本
軟組織の異常	172人	65人	33人	26人	27人	16人	4人	1人
不正咬合	1024人	291人	179人	155人	138人	117人	127人	17人

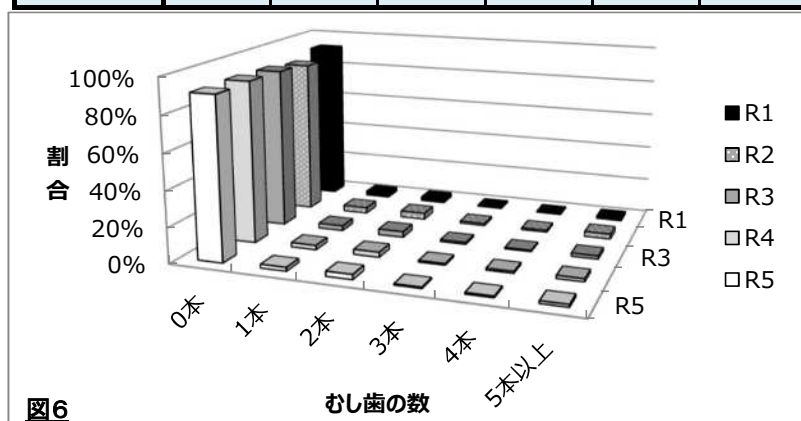
・むし歯がある者の割合は7.9%（383人）と前年の8.9%から1.0ポイント、減少した。

・医科との集団健診である浜北区、天竜区の受診率は変動がないが、それ以外の区の受診率は微減している。



むし歯(処置歯+未処置歯)のある者の割合（3歳、浜松市）

	むし歯の本数					
	0本	1本	2本	3本	4本	5本以上
R1	92.4%	2.5%	2.3%	0.7%	0.6%	1.4%
R2	87.8%	3.3%	3.6%	1.2%	1.1%	2.9%
R3	90.3%	2.8%	3.3%	1.0%	0.7%	1.8%
R4	91.1%	2.5%	2.8%	0.8%	1.0%	1.7%
R5	90.8%	2.1%	2.8%	0.6%	0.8%	1.4%



(参考) 他政令市との比較

令和4年度

1歳6か月児歯科健診

	受診者数	対象者数	受診率	むし歯のある者の割合
浜松市	5357人	5365人	99.9%	0.6%
静岡市	4109人	4206人	97.7%	0.7%
相模原市	4201人	4601人	91.5%	0.4%
静岡県	22180人	22458人	98.8%	0.6%
全国	806552人	852029人	94.7%	0.7%

3歳児歯科健診

	受診者数	対象者数	受診率	むし歯のある者の割合
浜松市	4955人	5917人	83.7%	8.9%
静岡市	4341人	4457人	97.4%	6.1%
相模原市	4470人	4829人	92.6%	6.7%
静岡県	23334人	24578人	94.9%	6.4%
全国	864852人	915672人	94.4%	8.6%

令和3年度

1歳6か月児歯科健診

	受診者数	対象者数	受診率	むし歯のある者の割合
浜松市	5604人	5645人	99.3%	0.6%
静岡市	4208人	4319人	97.4%	0.4%
相模原市	4401人	4874人	90.3%	0.9%
静岡県	23651人	23996人	98.6%	0.6%
全国	816605人	878832人	92.9%	0.8%

3歳児歯科健診

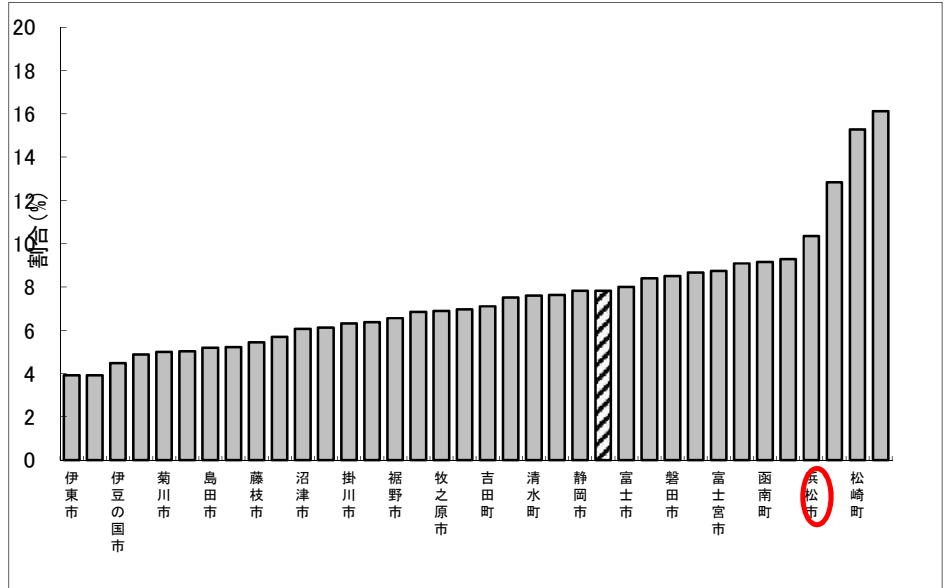
	受診者数	対象者数	受診率	むし歯のある者の割合
浜松市	4865人	6282人	77.4%	10.3%
静岡市	4481人	4600人	97.4%	6.9%
相模原市	4743人	5162人	91.9%	8.3%
静岡県	24128人	26732人	90.3%	7.5%
全国	883130人	950463人	92.9%	10.2%

3. 3歳児健康診査結果の過去3年間の値(令和2～令和4年度)

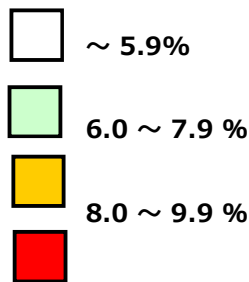
むし歯を持つ者の割合 (%)

市町名	R2～R4年度			
	2年度	3年度	4年度	5年度
下田市	12.8	13.4	12.5	12.5
東伊豆町	9.3	14.7	8.0	5.3
河津町	5.7	0.0	16.1	0.0
南伊豆町	6.1	6.3	12.9	0.0
松崎町	15.3	16.0	12.5	17.4
西伊豆町	16.1	26.7	11.1	15.0
熱海市	8.7	9.2	9.3	7.7
伊東市	3.9	5.0	2.6	4.1
沼津市	6.1	7.0	6.1	4.9
三島市	5.0	5.5	4.8	4.7
裾野市	6.6	6.1	8.0	5.2
伊豆市	7.0	12.9	4.4	2.7
伊豆の国市	4.5	6.0	3.3	3.9
函南町	9.2	12.1	8.5	6.5
清水町	7.6	7.7	8.3	6.7
長泉町	5.2	5.7	5.2	4.7
御殿場市	9.1	8.2	11.9	8.4
小山町	7.5	9.2	4.4	9.2
富士宮市	8.7	10.4	7.3	8.1
富士市	8.0	9.7	8.0	6.5
島田市	5.2	6.7	5.0	3.7
焼津市	7.6	9.6	8.1	5.0
藤枝市	5.5	6.5	5.2	4.4
牧之原市	6.9	10.9	6.2	2.5
吉田町	7.1	10.1	5.8	5.3
川根本町	3.9	7.7	0.0	4.8
磐田市	8.5	10.5	8.5	6.4
掛川市	6.3	7.3	5.9	5.6
袋井市	6.9	9.7	5.1	5.2
御前崎市	8.4	9.8	8.9	6.1
菊川市	5.0	5.7	3.8	5.3
森町	4.9	4.7	6.5	3.1
湖西市	6.4	8.9	4.6	5.4
静岡市	7.8	10.0	6.9	6.1
浜松市	10.3	12.1	9.7	8.9
静岡県	7.8	9.5	7.3	5.6

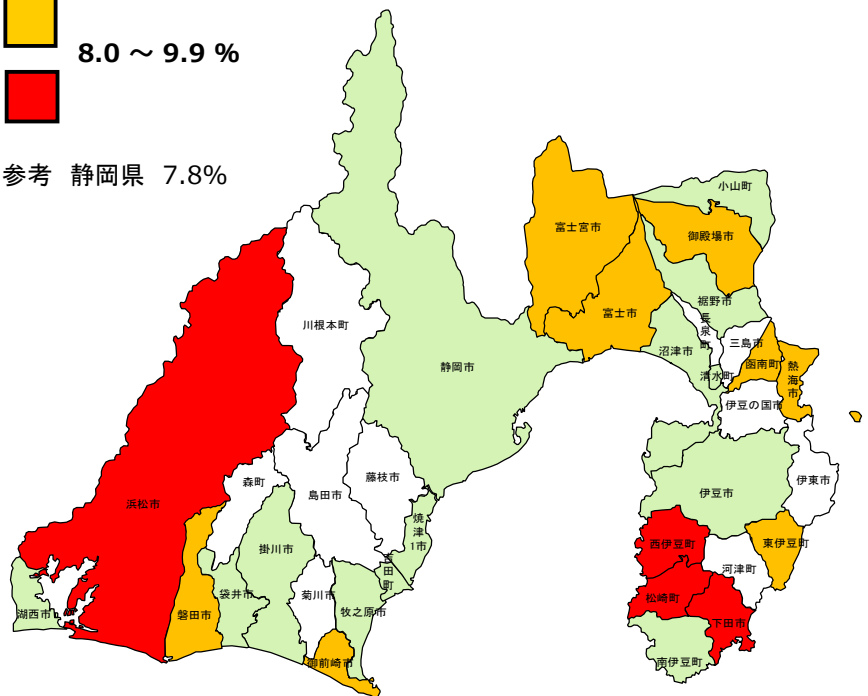
むし歯を持つ者の割合(3歳児健康診査、R2～R4年度)



むし歯を持つ者の割合(3歳児健康診査、R2～R4年度の計)



参考 静岡県 7.8%



参考:過去3年間の値 [10/10]

ウ 成人期

(ア) 歯周病検診 (30歳以上)

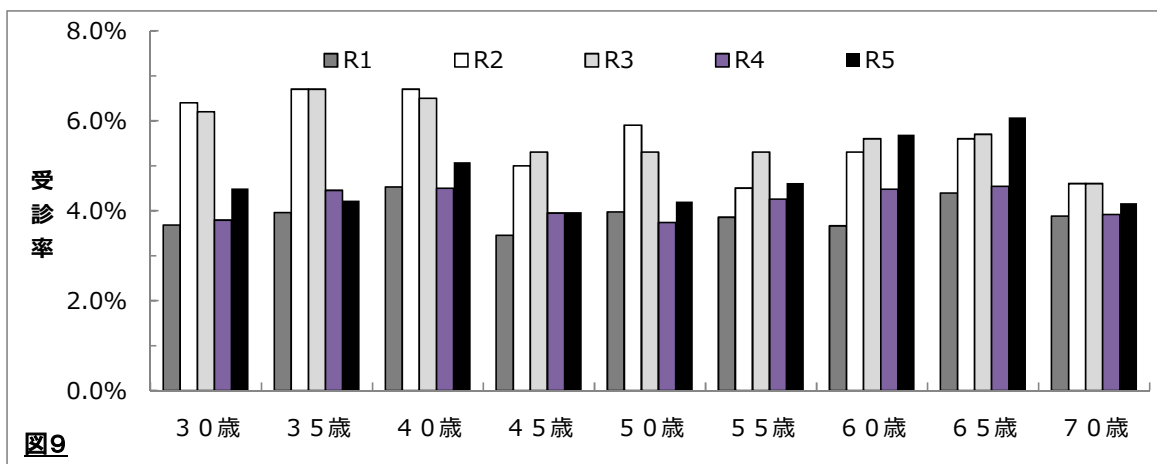
・対象：30歳以上（うち、30歳から70歳の5歳刻みで受診券を送付）

	浜松市	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区	
受診者数	4,810人	1,382人	792人	597人	732人	569人	607人	131人	
定期的に歯科受診をしている割合	43.1%	42.4%	42.9%	45.1%	46.4%	43.6%	37.9%	44.3%	
総合判定	異常なし	420人	122人	73人	77人	54人	39人	43人	12人
	要指導	1,840人	517人	305人	219人	262人	224人	270人	43人
	要治療	2,550人	742人	415人	301人	416人	306人	294人	76人
	要治療(%)	53.0%	53.7%	52.4%	50.4%	56.8%	53.8%	48.4%	58.0%

・受診者数は、令和4年度(5,245人)から減少した。

・要治療の者の割合は53.0%と、過年度と同程度だった。

【受診率】



	30歳	35歳	40歳	45歳	50歳	55歳	60歳	65歳	70歳
R1	3.7%	4.0%	4.5%	3.5%	4.0%	3.9%	3.7%	4.4%	3.9%
R2	6.4%	6.7%	6.7%	5.0%	5.9%	4.5%	5.3%	5.6%	4.6%
R3	6.2%	6.7%	6.5%	5.3%	5.3%	5.3%	5.6%	5.7%	4.6%
R4	3.8%	4.5%	4.5%	3.9%	3.7%	4.3%	4.5%	4.5%	3.9%
R5	4.5%	4.2%	5.1%	4.0%	4.2%	4.6%	5.7%	6.1%	4.2%

(イ) 市民公開講座（高齢者福祉課）（浜松市歯科医師会に委託）

R5.4.9 「ずっと元気でヤングのままで！！オーラルフレイルを予防しよう！～口は災いのもと～」

参加者：50人 動画視聴回数：161回

R5.10.15 「『予防歯科の知らない世界』～子供の歯を守る5つのポイント～」

参加者：107人

エ 高齢期

(ア) 口腔機能向上普及啓発事業（高齢者福祉課）

・市内で活動するサロン等の65歳以上の高齢者の団体を対象に、歯科衛生士が口腔機能向上のための集団指導を実施

年度	実施回数	受講人数
令和5年度	38団体	545人
令和4年度	16団体	497人
令和3年度	19団体	679人

(イ) 歯科訪問診査

・在宅療養者に対して、歯科医師が家庭に訪問して、健診、保健指導を実施

受診者の状況

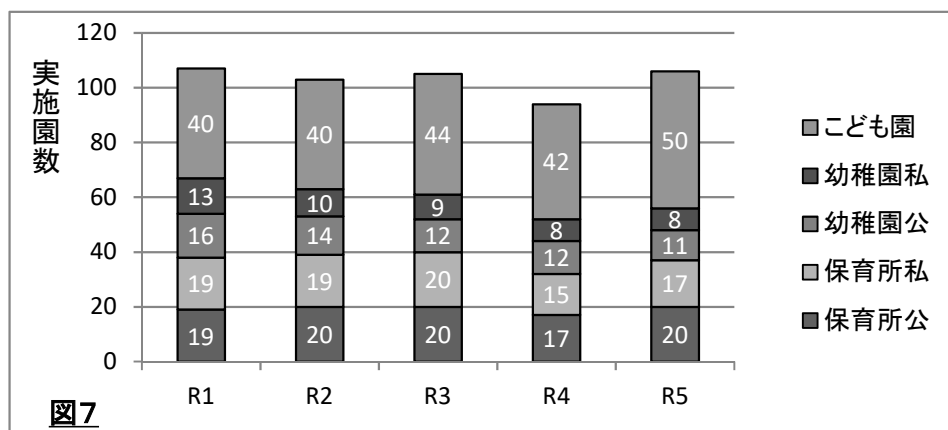
状況	実人数
介助で 車イス	11人
寝たり 起きたり	8人
自力で 車イス	1人
室内自立	7人
自力で 寝返り可	0人
自力で 寝返り不可	9人
計	36人

診査結果の内訳（実人数：36人）

		延べ人数
診査結果	要訪問診療	29人
	要通院診療	4人
	要高次医療機関受診	3人
	処置不要	0人
指導事項	歯口清掃指導	23人
	義歯の取扱指導	11人
	食事指導	4人
	その他	2人
対応方針	訪問診療	28人
	通院診療	4人
	高次医療機関受診	3人
	歯科衛生士による訪問歯科衛生指導	0人
	その他	3人

(オ) 令和5年度 フッ化物（フッ素）洗口実施施設数

	区分	施設の 総数	実 施 施設数	洗口回数別 施設数	
				週5回	週1回
保育所	公立	20園	20園	19園	1園
	私立	37園	17園	17園	0園
幼稚園	公立	56園	11園	10園	1園
	私立	38園	8園	4園	4園
こども園		81園	50園	48園	2園
計		232園	106園	98園	8園



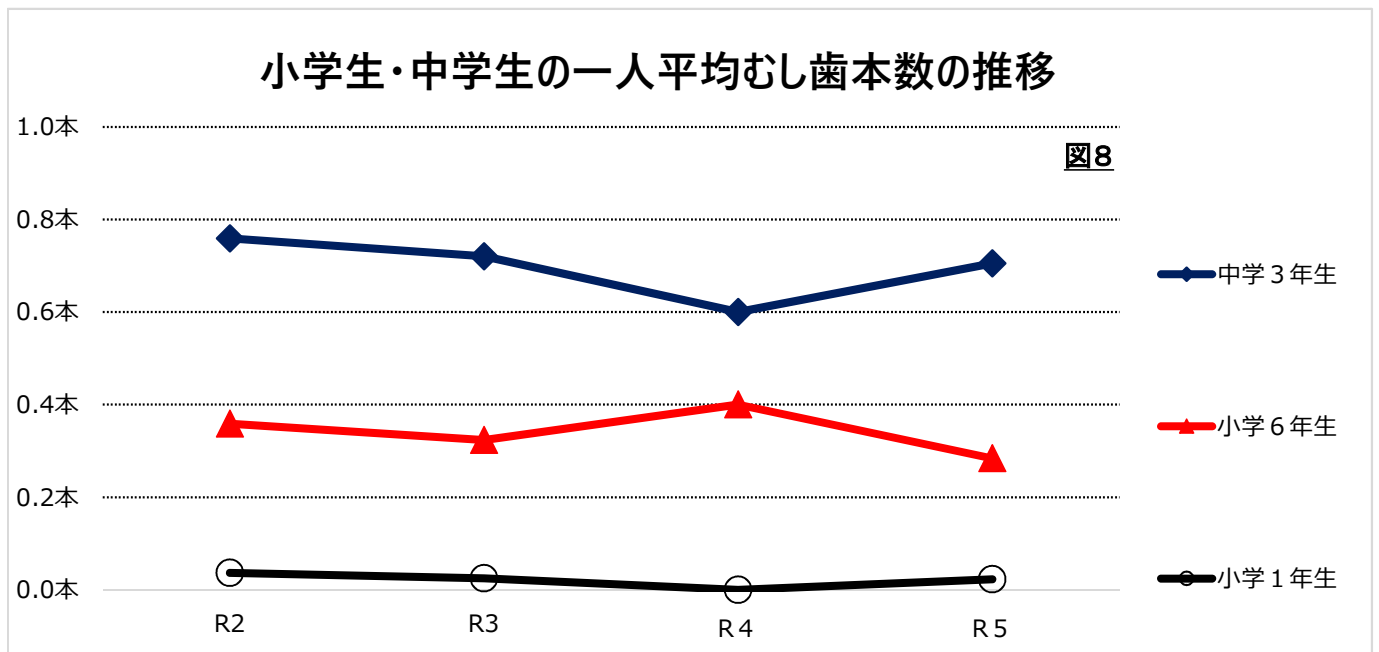
イ 学齢期

(ア) 学校歯科健康診断（健康安全課）

小学生・中学生一人平均むし歯本数

学年	項目	むし歯本数(永久歯)			
		令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
小学1年生		0.0本	0.0本	0.0本	0.0本
小学2年生		0.0本	0.1本	0.1本	0.1本
小学3年生		0.1本	0.1本	0.1本	0.2本
小学4年生		0.1本	0.2本	0.2本	0.2本
小学5年生		0.2本	0.3本	0.3本	0.3本
小学6年生		0.3本	0.4本	0.3本	0.4本
中学1年生		0.3本	0.4本	0.4本	0.5本
中学2年生		0.5本	0.5本	0.5本	0.6本
中学3年生		0.7本	0.6本	0.7本	0.8本

・前年度と比較すると、むし歯の本数はほぼ横ばいである。



オ 障がい者の歯科

(ア) 障がい者施設歯科健診

- ・生涯を通じて歯や口の機能を維持するのに効果的な「かかりつけ歯科で定期管理を受ける習慣」を普及啓発するために、障害福祉サービス事業所、障害者支援施設を訪問して歯科健診を実施。

かかりつけ歯科がある者の割合

		令和5年度	令和4年度	令和3年度
受診施設数		51 施設	48 施設	52 施設
受診者数	総数	990 人	910 人	1,067 人
	男性	645 人	585 人	660 人
	女性	345 人	325 人	407 人
平均年齢		46.8 歳	40 歳	40 歳
「かかりつけ歯科医あり」の者の割合 ^(注1)		84.0%	79.1%	79.1%
「過去1年間に歯科受診あり」の者の割合 ^(注2)		70.1%	56.3%	56.2%
【参考】「過去1年間に歯科受診あり」のうち、「定期受診あり」の割合 ^(注3)		55.0%	56.2%	56.1%

- ・かかりつけ歯科医院がある人の割合は8割、過去1年間に歯科受診がある人の割合は7割程度であった。

(注1)～(注3) 該当者数(有効回答数)

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
(注1)	832人 (990人)	844人 (1066人)	20人 (26人)
(注2)	672人 (958人)	600人 (1064人)	19人 (26人)
(注3)	507人 (921人)	599人 (1064人)	19人 (26人)

2 令和5年度 口腔保健支援センター関連事業実施報告

①口腔ケア普及推進事業

- ・介護福祉サービス事業所職員を対象に、日常生活での口腔ケア技術の実習
- ・市内事業所 8 か所（計 75 人）

②障がい者歯科連携推進事業

- ・障がい者の歯科診療に必要な技術の実地研修と解説、及び知識の講義
- ・実地研修：12 回（延べ 102 人）

③研修会等

「歯科衛生士研修会」：4/7, 1/30, 1/31

- ・参加者 各区行政保健担当歯科衛生士 29 人
- ・内容 4 月：事業に従事する上での注意事項等について
1 月：災害の備えや非常時対応について

「フッ化物洗口説明会」：4/25・27

- ・参加者 幼児教育保育施設の職員 63 人
- ・内容 フッ化物洗口の安全な実施方法および薬剤の管理について

「はみがき指導研修会」：5/15・25

- ・参加者 幼児教育保育施設の職員 36 人
- ・内容 はみがき指導のしかたについて

「要介護者口腔ケア実践研修会」：6/29

- ・参加者 介護保険サービス提供事業者
口腔保健医療センター：1 回(12 人)、市内事業所 8 か所（計 75 人）
- ・内容 口腔ケアに関する知識及び実技の研修

「障がい者施設歯科健診事業説明会」：11/6, 11/13

- ・参加者 障害福祉サービス事業者 58 施設
- ・内容 かかりつけ歯科の重要性について

「口腔保健支援センター研修会」：3/15

- ・外部講師 朝日大学歯学部口腔感染医療学講座社会口腔保健学
岩井浩明 講師
- ・参加者 ヘルスボランティア、食育ボランティア、はままつ健康増進団体および市民いき
いきトレーナー 62人
- ・内容 口の健康づくりについて「からだの健康はお口から」

④ 歯科口腔保健推進に関する啓発

- ・歯科の受診啓発チラシおよび啓発物の配布
- ・「歯と口の健康週間」において街頭 PR 活動（6月1日）
- ・住民の求めに応じて出張型健康教育を実施
- ・「11月8日（いい歯の日）」前後において、事業所に啓発資料等を配布

⑤ 健康長寿を目指して～口の健康づくり訪問～（高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施）（P.15-16）

- ・後期高齢者医療広域連合の実施する高齢者健康診査の質問票から69～79歳の、口の機能低下が疑われ、かつ、前年度に歯科に受診した記録がない者を対象として、歯と口の健康状態を把握するためのアンケートを実施
- ・アンケート結果からオーラルフレイルの疑いがある高齢者や希望があった居宅等を訪問して、歯科受診の勧奨や歯科保健指導を実施

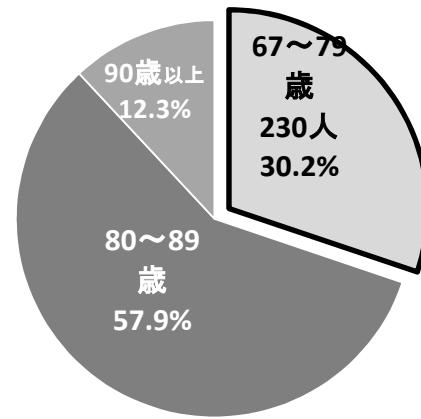
⑥ 第2次浜松市歯科口腔保健推進計画の策定

- ・一昨年度に実施した浜松市歯科口腔保健推進計画の最終評価ならびに、国の歯科口腔保健の推進に関する基本的事項（第二次）を参考に、第2次浜松市歯科口腔保健推進計画を策定

健診抽出者 年齢別分類

年齢区分	R5年度
67～79歳	230人
80～89歳	441人
90歳以上	91人
健診抽出者数	762人

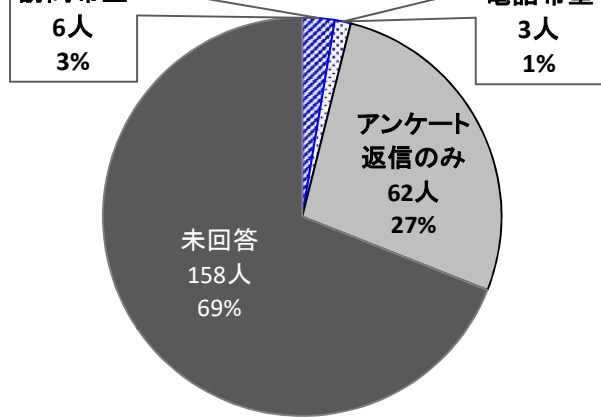
健診抽出者 年齢割合



対象者の反応分類

項目	R5年度
訪問希望	6人
電話希望	3人
アンケート返信のみ	62人
未回答	158人

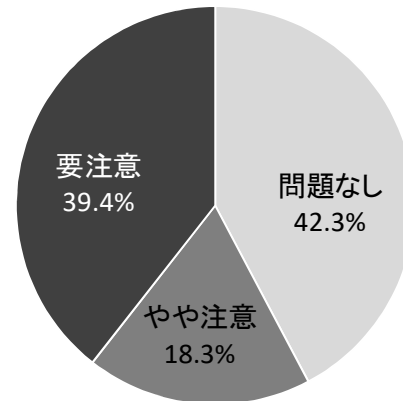
対象者の反応



回答者のアンケート結果

アンケート結果	R5年度
問題なし	30人
やや注意	13人
要注意	28人
回答者数	71人

回答者のアンケート結果

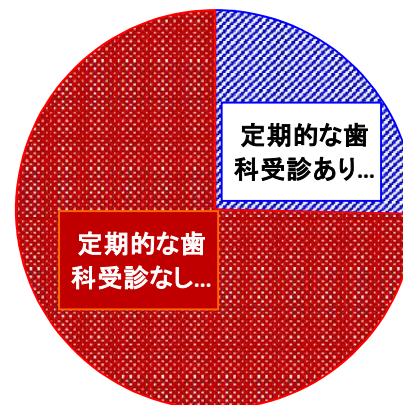


※アンケートは
歯科医師会リーフと合わせたもの

回答者の定期的な歯科受診の有無

定期歯科受診	R5年度
定期的な歯科受診あり	18人
定期的な歯科受診なし	53人
不明	
回答者	71人

定期的な歯科受診の有無

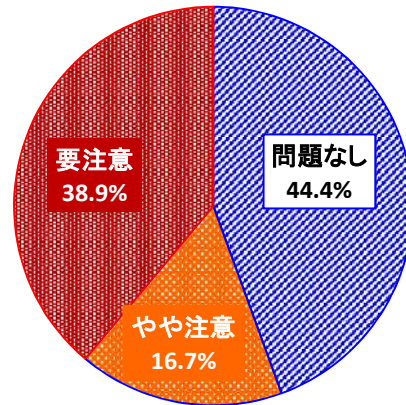


定期的な歯科受診ありの者

アンケート結果	R5年度
問題なし	8人
やや注意	3人
要注意	7人
歯科受診あり	18人

※アンケートは
歯科医師会リーフと合わせたもの

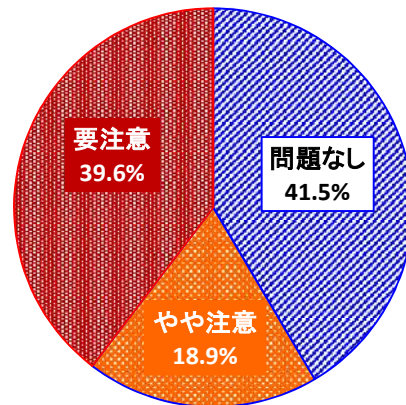
定期的な歯科受診ありの者アンケート結果



定期的な歯科受診なしの者

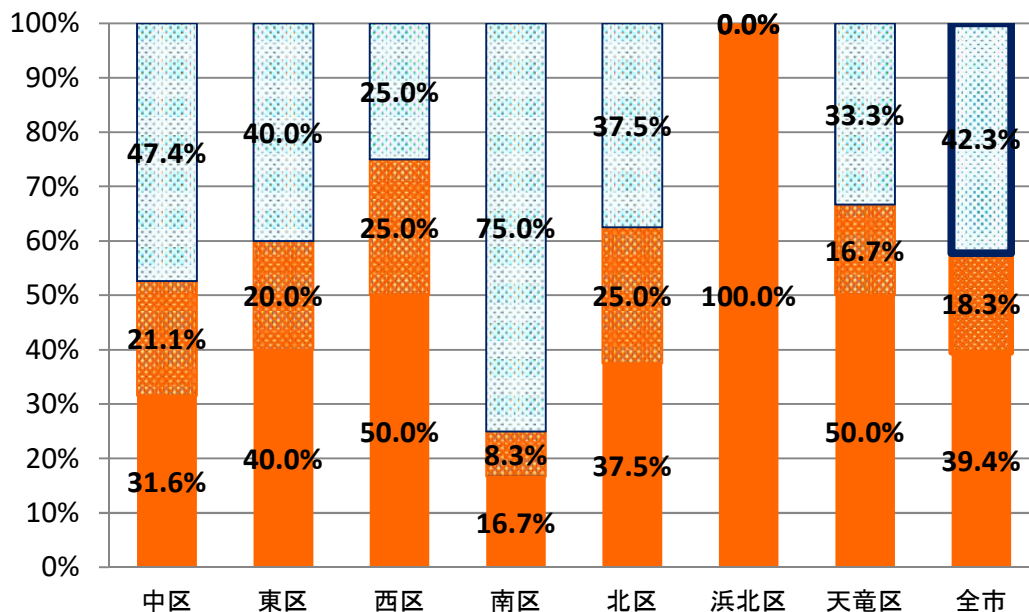
アンケート結果	R5年度
問題なし	22人
やや注意	10人
要注意	21人
歯科受診なし	53人

定期的な歯科受診なしの者アンケート結果



オーラルフレイルリスク判定結果 (区別と全市)

■ 要注意 ■ やや注意 ■ 問題なし



3 歯科口腔保健推進に関する浜松市の取組

(1)生涯にわたる歯科口腔保健対策

1) 妊娠期・乳幼児期

担当課	取組	対象	内容	R5年度 実施内容・実績	課題や今後の取組 (R6年度以降の取組や今後の方向性等)
健康増進課	妊婦の歯科健診	妊婦	・妊婦の歯科健診、歯科保健指導を実施する。	・妊娠届出時に受診票を配布し、受診希望者は委託医療機関を受診した。	・妊娠届出時の保健指導など、妊婦とのかかわりの中で、引き続き、受診勧奨に努める。
	幼児の歯科健診	1歳6か月児 2歳児 3歳児	・歯科健康診査を実施し、必要に応じて歯科保健指導を行う。	・1歳6か月児、2歳児は集団健診を実施した。3歳児歯科健診は中央区、浜名区の一部は歯科医院での個別健診、浜名区の一部・天竜区は集団健診を実施した。 ・かかりつけ歯科医院での定期管理の重要性を普及啓発した。	・かかりつけ歯科の重要性について、より一層の普及啓発が必要である。
	フッ化物洗口	幼児	・幼稚園、保育所、こども園にてフッ化物洗口を実施する。	・半分弱の施設（106施設/232施設）で実施した。	・引き続き、幼・保園長会等にて事業説明を行い、実施施設数の増加に努める。
	母子の健康教育	乳幼児 保護者	・フッ化物利用によるう蝕予防を普及啓発する。 ・噛むことの大切さや望ましい食習慣の定着を目指した働きかけを行う。	・各幼児教育・保育施設で健康教育を実施した。園での実施に加え、DVD、紙芝居の貸与などを行った。	・かかりつけ歯科の重要性について、より一層の普及啓発が必要である。 ・対象となる園の状況に合わせ、様々な実施方法を考える。
幼保運営課	幼稚園・保育所における歯科保健の推進	園児	・歯科検診を実施する。 ・口を育む教室を開催する。 ・歯の磨き方や口のすすぎ方及び仕上げ磨きの大切さの指導する。 ・望ましい食習慣の定着化を図る支援する。	・歯科検診を通して園児が自分の歯と口への関心が高まるようにした。 ・フッ化物洗口（希望園）や貸出用DVDの活用・教材の工夫、歯科衛生士による健康教育を実施し、歯と口の健康アップにつながった。 ・6月の歯と口の健康週間において「かみかみメニュー」を給食に取り入れたり、保護者に食育だよりを配布した。	・歯科検診結果の通知や健康アップの活動を通し、歯と口の健康の大切さを親子で感じられるようにする。 ・毎日の食後の歯磨き、口すすぎの習慣化を図る。 ・保護者の理解が乳幼児期からの生活習慣に大きな影響を及ぼすことから、家庭・園・地域で相互に連携を図りながら口腔保健推進の啓発に努める。

2) 学齢期

担当課	取組	対象	内容	R5年度 実施内容・実績	課題や今後の取組 (R6年度以降の取組や今後の方向性等)
健康安全課	学校における 歯科保健の推進	小学生 中学生	<ul style="list-style-type: none"> ・定期健康診断で歯科健診を実施する。 ・教育活動において、歯の必要性・大切さを含め、むし歯や歯周病の予防について指導する。 ・歯を清潔に保つため歯みがきを習慣化させ、自分で自分の歯やからだを意識的に守らせるという観点から昼食後の歯みがきの習慣化を目指す。 ・むし歯の多い子どもについては、学校歯科医の助言を受け、健診後、個別の保健指導に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期健康診断では、学校歯科医と連携を図り、健康診断の結果をもとに、むし歯や歯周病の予防について指導した。 ・自分で自分の歯やからだを守る意識につなげるため、「歯と口の健康週間」を啓発し、歯みがきの習慣化の定着に努めた。 さらに学校では、むし歯の多い児童・生徒には保護者にも連絡し、学校歯科医とともに個別の保健指導に努めた。 ・学齢期における歯周病に対する歯科保健教育について、歯科医師会との協議・調整を図った。 ・浜松市学校保健会学校歯科医部研修会において、養護教諭や保健主事等の教職員を対象にした「誰も知らない歯と口の話」「アスリートも歯が命！ 転ばぬ先のマウスガード」についての講話を動画配信した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期健康診断の結果をもとに、学校歯科医と連携を図り、むし歯や歯周病の予防について指導していく。 ・自分で自分の歯を守る意識を高めるため「歯と口の健康週間」を通して、歯みがきの習慣化を図る。 ・むし歯の多い児童・生徒には、保護者にも連絡し、学校歯科医とともに個別の指導に努める。 ・今後、歯科医師会が取り組んでいく、学齢期における歯周病に対する歯科保健教育に協力する。
健康安全課	学校における 食育について	小学生 中学生	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭・学校栄養職員等を中心とし、よく噛んで食べることを意識した献立を作成する。 ・教職員と連携・協力し、食に関する指導体制の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1か月に数回「カミカミメニュー」（よく噛んで食べる献立）を実施した。 ・栄養教諭等が、よく噛んで食べることの重要性を指導した。 ・6月の「歯と口の健康週間」には、カルシウムを多く含んだ食品や、よく噛んで食べる食品を取り入れた献立やカミカミメニューを実施し、指導につなげた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1か月に数回「カミカミメニュー」（よく噛んで食べる献立）の継続及び新献立等の検討する。 ・各学校の食育に関する指導計画に基づき、栄養教諭等が中心になって、よく噛んで食べることの重要性に関する指導の改善及び充実を図る。 ・「歯と口の健康週間」がある6月には、骨や歯を丈夫にするカルシウムを多く含む食品、あごを強くするために、よく噛んで食べる食品等を多く取り入れていく。

3) 成人期

担当課	取組	対象	内容	R5年度 実施内容・実績	課題や今後の取組 (R6年度以降の取組や今後の方向性等)
健康増進課	歯周病検診	30歳以上の市民	・歯科健診、保健指導を実施する。	・30歳以上の市民に対し歯周病検診を実施した。 ・受診券は、30、35、、、、70歳の市民に対して郵送した。 ・企業との取り組みの中で受診券の発行を実施した。	・対象を20歳〜に変更する。 ・今後も受診率向上のため、啓発を継続していく。
	健康教育	市民 企業等	・地域団体や企業等からの希望に応じ、口腔機能の維持向上や口腔ケアについて普及啓発を実施する。	・住民団体や健康保険組合等に健康教育の実施を案内し、希望のある団体の活動の場や事業所で健康教育を実施した。	・引き続き、事業の周知に努めるとともに、今後はオーラルフレイルの概念の普及に取組む。
	歯周病検診等・ 受診啓発	市民 企業等	・健康はままつ21推進団体に歯周病検診について普及啓発する。 ・協力の得られた市内の大学・専門学校も歯周病検診についての啓発を実施する。 ・杏林堂・ヘイリオンの啓発事業に協力する。	・取組に興味を示す企業に赴き、歯周病検診の受診券発行の申し込みを受けた。 ・媒体は紙ではなく、PDFなどのデジタルデータを希望する企業が増えている。 ・特定保健指導利用券発行時に喫煙歴のある者に歯周病の理解を深めてもらうため、チラシを国保年金課と連携し配布した。	・歯周病検診に関する普及啓発に努める。特に、事業所に対して働きかけを強化する。
ウエルネス推進事業本部	浜松市民の健康づくりの推進に関する連携協定に基づく歯科保健事業の試行	市民	・株式会社ミナケアの予防型歯科検診プログラム「デンタルIQチェック」を活用した学生向け意識啓発トライアル事業を実施する。	・市内5か所の大学・専門学校に対して、口腔保健に関するWEB問診「デンタルIQチェック」を活用した学生向け意識啓発トライアル事業を実施し、結果をまとめた。 【実施概要】 ・実施期間：令和5年4月5日（水）～6月14日（水） ・対象：静岡文化芸術大学、常葉大学浜松キャンパス、聖隷クリストファー大学、市立看護専門学校、浜松歯科衛生士専門学校 ・回答者数：1,083名（回答率22.1%）	・口腔保健医療センターが得られたデータを考察し、口腔保健施策・事業への活用を検討するにあたり、できることを支援する。
高齢者福祉課	市民公開講座	市民	市民に対し、専門的見識に基づいた歯科及び口腔ケアの正しい知識の普及啓発のため講演会を実施する。（歯科医師会へ委託）	市民公開講座を2回実施 ※4/9はアーカイブ配信あり ・令和5年4月9日「ずっと元気でヤングのまままで!! オーラルフレイルを予防しよう! ～口は災いのもと～」 会場参加者数：50人、動画視聴回数：161回 ・令和5年10月15日「予防歯科の知らない世界～子供の歯を守る5つのポイント～」 会場参加者数：107人	引き続き、幅広く市民に歯科・口腔ケアについて知っていただく機会として実施。また、市民の利便性を考慮した会場選定について歯科医師会と検討する。
国保年金課	生活習慣病重症化予防	市民	生活習慣病対策の一環として、歯科疾患予防を啓発する。	特定健康診査受診者で医療機関への受診勧奨通知対象者のうち喫煙者に対し、歯周病に関する啓発ちらしを発送した。 発送件数：1,893件	糖尿病性腎症重症化予防プログラム対象者については新たに歯周病検診受診券を受診勧奨通知に同封し送付を開始する。（R6.6～）

4) 高齢期

担当課	取組	対象	内容	R5年度 実施内容・実績	課題や今後の取組 (R6年度以降の取組や今後の方向性等)
健康増進課	歯周病検診	30歳以上の市民	・歯科健診、保健指導を実施する。	・30歳以上の市民に対し歯周病検診を実施した。 ・受診券は、30、35、、、、70歳の市民に対して郵送した。	・今後も受診率向上のため、啓発を継続していく。
	健康教育	高齢者	・地域団体や企業等からの希望に応じ、口腔機能の維持向上や口腔ケアについて普及啓発を実施する。	・歯科衛生士を派遣し、口腔機能の向上等についての健康教育を実施した。	・引き続き、事業ならびにオーラルフレイルの概念の周知に努める。
	口腔ケアの普及啓発	介護保険事業所	・介護事業所に対し、口腔ケアの重要性や効果などを普及啓発する。	・通所の介護事業所に対し、訪問して普及啓発を実施した。	・引き続き、事業の周知に努め、介護事業所において口腔ケアの関心を高めていく。
	歯科受診勧奨	高齢者	・介護予防と保健事業の一体的実施の一環として歯科医療機関への受診勧奨をする。	・求めがあった高齢者等に訪問して歯科相談を実施した。	・より効率的に高齢の市民にとって必要な取り組みを検討する。
	歯科訪問診査	通院困難な者	・居宅等で療養し通院しての歯科診療が困難と目される者に対し、求めに応じて訪問して歯科健康診査を行う。	・市民の訪問希望を浜松市が受付、歯科医師会に歯科訪問診査を依頼した。	・事業の周知に努める。
高齢者福祉課	口腔機能向上普及啓発事業	高齢者	・在宅の虚弱な高齢者を対象に、口腔機能向上及び口腔ケアについての正しい知識や技術を普及啓発することで、介護予防を推進する。	・市内22か所の元気はつらつ教室のうち指定した5教室（19グループ）の参加者を対象に、歯科衛生士によるオーラルフレイル予防に向けた講座を実施。後期高齢者質問票を活用し、1グループにつき2回の講座を開催した。（実施延回数：38回 ※19グループ×2回。受講延人数：1068人 ※1回目545人、2回目523人）	・R6年度も市内の元気はつらつ教室から3教室、地域の通いの場を市内から2か所を指定し講座を実施。R7年度以降も、実施エリアや実施方法を検討しながら継続していく。
	地域包括ケアシステム推進連絡会	医療・介護・福祉等の関係者	円滑な地域包括ケアシステムの推進を図るため、歯科医師を含めた医療関係者と介護関係者等との会議を開催する。	・連絡会本会：令和5年7月4日、令和6年3月15日 ・全部会（連携、市民啓発、研修・情報共有、ACP）に歯科医師が参加し、医療・介護・福祉等との連携強化に向けて、多職種による協議を行った。会議回数：22回 ・市民啓発部会の活動である「知って得するお出かけ講座」のメニューに歯科医師による講座「おいしく食べて、元気でいよう」をテーマに実施。地域住民に対し、在宅医療と介護との連携の啓発と併せて講話を実施した。実施回数：3回	・引き続き、連絡会本会及び各部会に歯科医師が参加し、医療・介護・福祉等との連携強化に向けて、多職種による協議を行う。 ・「知って得するお出かけ講座」による地域住民への歯科や口腔ケアについての普及啓発を継続していく。 ・他医療機関や福祉や介護等と地域における多職種連携を行っていく。

5) 障がい者の歯科

担当課	取組	対象	内容	R5年度 実施内容・実績	課題や今後の取組 (R6年度以降の取組や今後の方向性等)
健康増進課	障がい者歯科保健医療システムの充実	歯科医療関係者	・かかりつけ歯科での定期管理が行える体制の構築を目標として、歯科診療所、浜松医療センター、口腔保健医療センターとの意見調整を行う。	・連絡調整会議の開催：6/8, 11/9, 2/8 ・障がい者歯科協力医の周知した。	・障がい者の歯科保健医療の向上、増進を図るため引き続き「浜松市障がい者歯科保健医療システム」の周知に取り組んでいく。 ・「浜松市内の病院等における外来障がい者歯科診療および全身麻酔集中歯科治療受診の手引き」を改訂予定である。
	かかりつけ歯科での定期管理の重要性について普及啓発	障害福祉サービス事業所の利用者	・かかりつけ歯科での定期管理を習慣化するための普及啓発を行う。	・普及啓発の手段として市内の通所施設を訪問して歯科健診を実施した。	・かかりつけ歯科での定期管理の定着を目指し、歯周病検診のPRも併せて行う。
	歯科医療従事者の資質向上	歯科医療関係者	・障がい者の歯科診療に必要な技術の実地研修及び講義を行う。	・年間12回開催 延べ102名が参加した。	・地域での障がい者歯科医療の充実を図る。
障害保健福祉課	歯科保健医療の普及啓発 障害者差別解消法の歯科医療関係者への理解の促進	障がいのある人、その家族 歯科医療関係者	・各福祉事業所社会福祉課に「歯科診療でお困りの障がいのある方へ」のチラシ等をおき、歯科保健医療提供体制を周知する。 ・歯科医療関係者に対し、障害者差別解消法の理念及び内容の理解促進を図る。	・「歯科診療でお困りの障がいのある方へ」のチラシを障害保健福祉課、各区役所社会福祉課窓口を設置、障害福祉サービス事業所への集団指導の際に周知及び障害保健福祉施策連絡会においてチラシ配付をし周知した。 ・障がい者歯科連絡調整会議において障害者差別解消法パンフレットを配付し周知した。	・令和6年4月から障害者差別改正法の一部改正に伴い障害者に対する合理的配慮の提供が、事業者について努力義務から義務となるため周知に取り組む。 ・障害者の歯科保健医療の向上、増進を図るため引き続き「歯科診療でお困りの障がいのある方へ」の周知に取り組む。 各社会福祉課窓口でのチラシの配架 障害保健福祉施策連絡会等においてチラシでの説明 障害福祉サービス事業所へのチラシデータの送信による周知 歯と口の健康フェスタ等において障害者差別解消法パンフレットによる説明、周知
病院管理課： 浜松医療センター	障がい者歯科診療	一般の歯科診療所で歯科治療が困難な障がいのある人	・「障がい者歯科協力歯科医院」と連携して歯科診療を行う。 ・全身麻酔による集中歯科診療を行う。	・浜松医療センター歯科口腔外科において、週1日、特殊歯科外来を実施した。	引き続き、「浜松市口腔保健医療センター」及び「障がい者歯科協力歯科医院（浜松市歯科医師会）」と連携を図りながら、歯科診療を行っていく。

(2) 状況に応じた歯科口腔保健医療対策

災害時の歯科口腔保健医療

担当課	取組	対象	内容	R5年度 実施内容・実績	課題や今後の取組 (R6年度以降の取組や今後の方向性等)
健康医療課 健康増進課	浜松市医療救護対策委員会における災害時歯科医療の検討	医療関係者 ほか	災害時における医療救護対策(緊急歯科医療)、健康支援対策(口腔ケア)などについて調査研究を行う。	・第1回：令和5年8月8日 ・第2回：令和6年3月18日	・第1回：令和6年8月上旬(予定) ・第2回：令和6年11月下旬(予定) ・第3回：令和7年3月上旬(予定)
健康増進課	災害時歯科衛生士ボランティアの募集及び研修会の開催	歯科衛生士	災害時、避難所等で活動いただける歯科衛生士ボランティアを募集する。	・ボランティア登録者：35名(令和元年度末時点)	・今年度、以前の登録者には継続の意向の確認と新規募集を並行して行う予定。研修会の開催も検討する。

(3) その他

担当課	取組	対象	内容	R5年度 実施内容・実績	課題や今後の取組 (R6年度以降の取組や今後の方向性等)
保健総務課	医療相談	市民	医療相談窓口を設置し、医療に関する患者等の相談に対して、中立的な立場で対応する。	・相談件数：1,140件(うち、歯科に関する相談：43件) ・医療安全推進連携会議 開催 令和5年7月27日	引き続き、医療相談窓口を設置し、医療に関する患者等の相談に対応していく。
子育て支援課	要保護児童対策地域協議会	児童虐待防止に関わる関係団体	児童虐待防止に向け、庁内外の関係機関の代表者による実務の円滑な運営体制整備を目的に、情報交換等を実施する。	・要保護児童対策地域協議会 代表者会議開催 第1回 令和5年9月5日 第2回 令和6年3月8日 関係機関代表者として歯科医師会代表者出席	・引き続き、児童虐待防止に向け、歯科診療における虐待早期発見、通告先の情報共有等を行う。
健康増進課 (健康推進G)	歯科口腔保健推進条例と計画の周知 歯と口の健康づくりに関する啓発	一般市民	生活習慣病予防、歯と口の健康づくりに関する啓発を実施する。	・健康教育やイベント等にて「健康はままつ21後期計画」を周知し、計画に基づく取組を推進した。 ・新たな「健康はままつ21(第3次浜松市健康増進計画・第2次浜松市歯科口腔保健推進計画・第4次浜松市食育推進計画)」の策定に伴い、パブリック・コメントを実施(11/15~12/14)し、令和6年3月に策定した。	令和6年3月に策定した「健康はままつ21(第3次浜松市健康増進計画・第2次浜松市歯科口腔保健推進計画・第4次浜松市食育推進計画)」について広く周知を図るとともに、計画に基づく取組を推進していく。

4 歯科保健の推進に関する委員のご意見

	北村委員 (浜松市介護支援専門員連絡協議会)	小田委員 (浜松市浜松手をつなぐ育成会)	稲川委員 (ヘルスポランティア活動連絡会)	鈴井委員 (浜松民間保育園長会)
令和5年度取組実績	<p>・浜松市歯科医師会多職種連携研修会(1月)について、ケアマネ協事務局(介護保険課)を通じてケアマネへ周知を行った。</p> <p>・浜松市介護支援専門員連絡協議会役員会(1月)において健康増進課よりオーラルフレイルの啓発や訪問歯科診査の流れについてご説明いただいた。</p> <p>・浜松市歯科医師会・浜松市介護支援専門員連絡協議会との意見交換会(3月)に参加し、歯科訪問診療・歯科訪問診査やケアマネから歯科医師へのFAX相談票等の周知、ケアマネの知りたい口腔のこと、等意見交換を行った。</p>	<p>・育成会全会員、福祉施設、相談支援事業所などの関係機関に配布している当会の広報紙「手をつなぐ浜松」に、歯科医師会のご協力を得て浜松市歯科医師会コラム①と②を掲載し、障がいのある人の歯科治療や歯科受診の重要性やかかりつけ歯科医を持つ大切さを伝えた。</p> <p>①「手をつなぐ浜松」Vol.89 R5年6月発行 ②「手をつなぐ浜松」Vol.92 R6年3月発行</p> <p>・R5年9月26日、特別支援学校部会が歯科講座を開催し、保護者10名が参加した。浜松市口腔センター・伊藤先生より「障がい児の歯の健康について」講演をしていただいた。また、「かかりつけ医とのかかわり方」「障がい児(者)の歯についての市の取り組み」についてお話していただき、保護者からの子どもの歯の悩みについてもご回答いただいた。</p> <p>・例年通り、新規入会の会員向け「しずおかサポートファイル」の配布説明会の際に、定期的な歯科受診を勧めた。特に幼児期会員には、かかりつけ歯科医を持つよう働きかけた。受診についての心配事や初診前の相談などは、口腔センターに相談できることを紹介した。</p>	<p>各地区ごとで実施したことで、ほぼ達成できたと考える。</p>	<p>・7月の会議後、口腔保健センターの方の訪問を2園の保育園で受け入れ、子どもたちの食事の様子を見学・職員の話や聞くなど実態に触れてもらうことが出来た。</p> <p>・園長会の理事会において、会議の内容を伝達し、その中から各園共通の伝達すべき事項について、園長会で伝達・報告を行った。</p> <p>・各園の歯科健診の際、欠席した子の受診についてはかかりつけ医ではなく、園医での受診を徹底してもらおう</p> <p>・保護者への啓発紙の配布</p> <p>・浜松市歯科調査及び5歳児歯科調査への協力。</p> <p>・2歳児・3歳児歯科検診受診を奨励。</p> <p>・保育者向けの歯科健康教育研修会の受講と、研修を活かした園児への歯科教育の推進に繋がった。</p> <p>・市のフッ素事業について周知した。</p>

	北村委員 (浜松市介護支援専門員連絡協議会)	小田委員 (浜松市浜松手をつなぐ育成会)	稲川委員 (ヘルスポランティア活動連絡会)	鈴井委員 (浜松民間保育園長会)
令和6年度の取組予定	<p>・市内のケアマネ事業所、地域包括支援センター、介護サービス事業者に対し、歯科訪問診査や歯周病検診、オーラルフレイルの周知をはじめ、歯科との連携について引き続き啓蒙を行っていきたい。</p> <p>・繰り返し継続的に周知をしていくことが重要であるので、ケアマネ連絡協議会と、サービス連絡協議会も含め、市からお知らせを市内の介護関係の全事業所へ向けて発信いただけるよう調整を行っていききたい。</p> <p>・R6年6月に行われた浜松市介護支援専門員連絡協議会の総会(WEB開催)にて、浜松市歯科医師会・鈴木隆之先生より「歯科訪問診査」、「歯科訪問診療」、「ケアマネから歯科医師へのFAX相談票」についてご説明いただき、参加者にパンフレットやFAX相談票をデータ配布し周知を行った。</p>	<p>・前年度から引き続き広報紙に歯科のコラムを掲載させていただく予定。</p> <p>・成人期の保護者向けに、歯周病予防を重視した歯科講座を開催できるよう計画を検討中。</p>	<p>基本に立ち返り、定期検診を行うこと。</p> <p>以前、8020運動の始まりのこと、ある方のお母様が表彰された話を聞き、みんな歯の大切さを改めて感じたので、今年の実組とした。</p>	<p>園長会を通して、</p> <p>・参加した会議の内容について伝達し、情報を共有する。</p> <p>・保護者への啓発パンフの配布</p> <p>・浜松市歯科調査及び、5歳児歯科調査への協力</p> <p>・2.3歳児の歯科検診の受診の奨励。</p> <p>・保育者向けの歯科健康教育研修会の受講と、研修を活かした園児への歯科教育の推進に繋げる。</p> <p>・市の健康浜松21より、浜松市歯科口腔保健推進計画(ライフコースアプローチ)に関心を持ってもらえるようにする。</p>

	北村委員 (浜松市介護支援専門員連絡協議会)	小田委員 (浜松市浜松手をつなぐ育成会)	稲川委員 (ヘルスポランティア活動連絡会)	鈴井委員 (浜松民間保育園長会)
市や専門団体においてお願いしたいこと	<p>・口腔内のことへの意識・理解が不十分なケアマネが多い。引き続きケアマネ向けの勉強会・研修会の機会をいただければありがたい。</p> <p>・周知は繰り返し継続的にしていくこと重要であるので、R6年度も市よりオーラルフレイルの啓発や、訪問歯科診査・訪問歯科診療、歯科医師への相談票など、ケアマネ向けに説明いただく機会をお願いしたい。</p> <p>・浜松市介護支援専門員連絡協議会、浜松市介護サービス事業所連絡協議会の事務局（いずれも介護保険課）を通じ、パンフレット等を全ケアマネ事業所・介護サービス事業所向けに同報メールでお知らせ発信をしたり、集合型の研修の際に直接配布することも可能と思うので、検討いただければ幸いです。</p>	<p>・障がい者歯科協力歯科医院の周知をお願いしたいです。特に幼児期の保護者の手元に行き渡るようなチラシと市のHPからスマホで検索できるようにして頂ければ、周知の効果もあると思います。</p> <p>・近年、民間業者による障がい者のグループホームがたくさん設置されていますが、支援者は福祉の専門職が少なく、日々の支援の内容が問われています。そんな中で、日常的な歯科受診や成人期の口腔ケアについて、グループホームの職員がその重要性を認識するのは難しいと推測されます。成人期の暮らしの中で、歯科受診と口腔ケアについて、職員向けの講演や研修を呼び掛けていただきたいです。</p>	<p>年1度、私たちの高齢者サロンに市の歯科衛生士さんが来てお話を聞くことができるので楽しみにしている。</p>	<p>・歯の健康については、市として生涯にわたる口の健康づくり（ライフコースアプローチ）は乳幼児期からの継続した取り組みが不可欠だと思います。様々なパンフレットやイベントの企画・情報の発信等、今後も積極的に行ってってください。</p> <p>・子どもたちの実態を各園の様子から知りたいという事でしたら、依頼して頂ければ、園長会で協力園を打診することはできると思います。</p>

5 令和6年度歯科保健事業計画

(新規事業、既存事業の拡充等) ※〈 〉は連携する課及びグループ

(1) 第2次浜松市歯科口腔保健推進計画の市民への周知〈健康推進G〉

・令和5年度に策定した計画を市民に対し、保健師と栄養士他と連携を図りながら周知を行う。

(2) 歯周病検診対象の拡大

・国の歯周病検診の対象が拡大したことに合わせ、対象年齢を20歳〜とした。

(3) 市民公開講座の実施

・市民に対して、口腔に対する知識の啓発のため、12月8日に市民公開講座を開催する。

(4) 「浜松市内の病院等における外来障がい者歯科診療および全身麻酔集中歯科治療受診の手引き」の改訂

・平成27年に作成した手引きの内容を現在の状況に合わせたものに改訂作業を行うため、現在、市内の病院歯科他にアンケートを送付し回収した。今年度中に改訂作業を行う予定である。

(5) 2歳児歯科教室 あっぷっぷ の実施

・幼児期からの望ましい口腔機能の育成についての普及・啓発、さらには定期的に歯科検診を受けることの勧奨を目的に、2歳児とその保護者を対象とした歯科の健康教育をトライアル実施する。

・親子で参加することで、保護者自身の口腔に対する意識の向上に繋げる。

(6) 災害時歯科衛生士ボランティアの募集〈健康医療課〉

・令和元年度に登録された災害時歯科衛生士ボランティアに対し、ボランティアの継続が可能かどうかを確認し、別途新規の募集を行う。また、研修会の開催を検討する。

(7) 糖尿病性腎症重症化予防プログラム対象者に歯周病検診受診券を発送

〈国保年金課〉

・糖尿病性腎症重症化予防プログラム対象者に対し、歯周病検診受診券を受診勧奨通知に同封し、送付を開始する。(R6.6~)

(8) 障がい者手帳交付手続きの際に、障がい者歯科協力医の情報提供

〈障害保健福祉課〉

・各種手帳交付時に、浜松市障がい者歯科協力医のチラシを配布できるように調整を実施する。

(9) 市内公立園の食事場面の見学を実施〈幼保運営課〉

- ・市内の公立園の食事場面を口腔センター、健康づくりセンターの歯科衛生士が見学に行く。
(9月)

(10) 杏林堂・グラクソスミスクライン(株)の事業に対する協力

〈ウエルネス推進事業本部〉

- ・ウエルネス推進事業本部と杏林堂、グラクソスミスクライン(株)が6月1日から7月31日まで行う歯科啓発事業に対する協力を行う。

(11) (株)ミナケアとの連携した事業内容と他事業所と連携した啓発活動について口腔衛生学会にて発表〈ウエルネス推進事業本部〉(5.12 実施済み)

- ・第73回日本口腔衛生学会学術大会にてポスター発表を実施した。

(12) 中学校での職業講話 (6.21 実施済み)

- ・授業の一環として中学校で実施される職業紹介に、歯科専門職を紹介するため参加した。
- ・仕事の全体像や必要な資格、社会人として働くうえで大切にしたいことや中学生のうちに考えておくべきこと等について話し、歯科専門職に興味を持ってもらえるように中学生たちへ講話を行った。

楽しく口を育てる教室

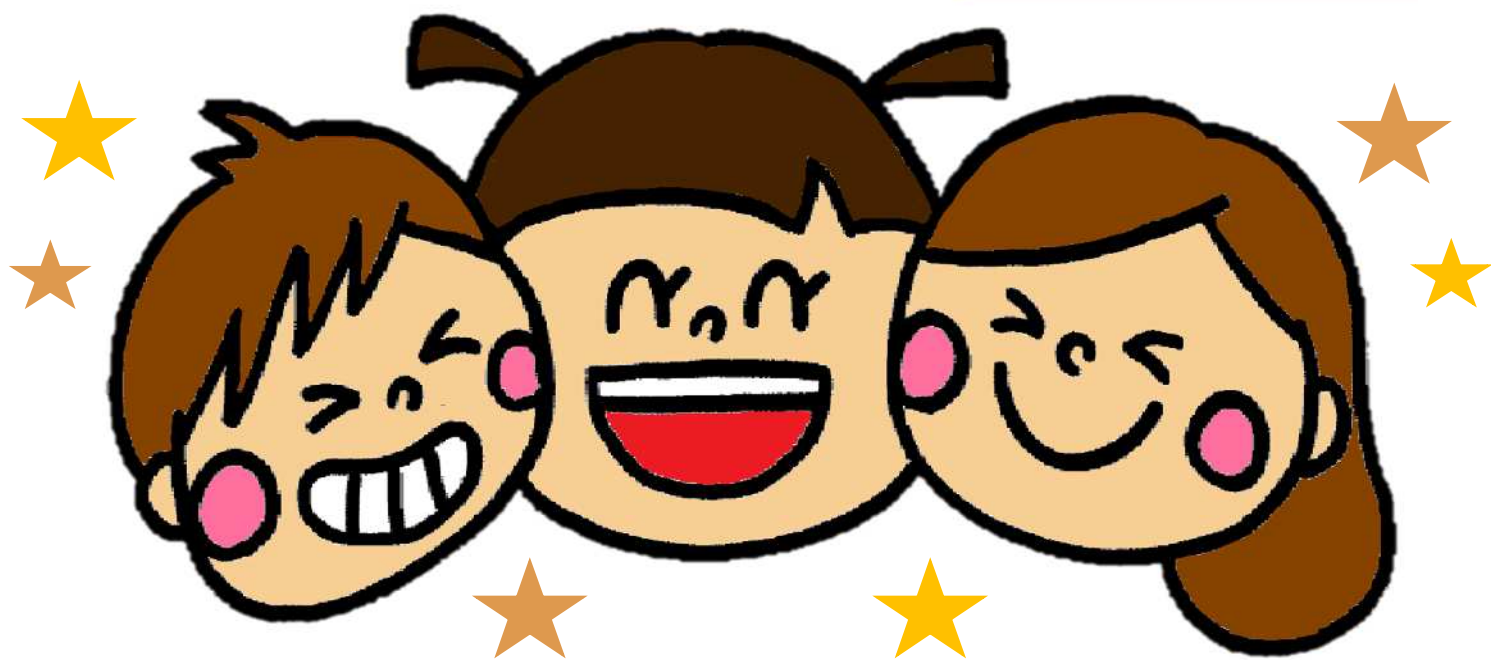
あつぷっぷ

対象:2歳児

親子で遊びながら「口の機能を育む」ことについて、一緒に考えてみませんか？
口を使った遊びの紹介や体験、歯みがきのポイントもお話します。

口を使って遊ぼう！

口の機能を育む
ってなに？



教室の詳細はちらしを
チェック！

歯みがきのポイント紹介

問合せ先

口腔保健医療センター 453-6129
中央健康づくりセンター（南） 425-1590
引佐健康センター 542-0857

中央健康づくりセンター（東） 424-0125
中央健康づくりセンター（西） 597-1174

浜松市民のみなさまへ

歯周病検診  が

受けられることを

ご存知ですか？



検診を受けたらお得な/
キャンペーン実施中!

杏林堂ポイントカード
会員様限定!

検診を受けて、フォームに必要事項を入力するだけ!

杏林堂
ポイント

300pt プレゼント!!

ポイント取得条件

「令和6年度 歯周病検診」を
受診された方
(浜松市内に住所を有する20歳以上の方)

浜松市の
歯周病検診
受診券
(ハガキ)



ポイント取得方法

こちらのQRコードを読み込み、フォームに下記必要事項をご入力ください。
後日、ポイントを付与いたします。



必要事項

- ・お客様の会員番号
- ・受診された歯科医療機関名
- ・アンケート



対象期間

2024.6.1 (土) ▶▶▶ 7.31 (水)

GOGOデンタル通信

過ごしやすい季節になりました！ そろそろ歯科検診に出かけませんか？

1 あって良かった！ 歯みがきグッズ ～災害時の備え～



2 歯みがき粉の使い方 それで良い？

第1問

歯みがき粉は
たっぷりつける

or



第2問

しっかりぶくぶく
良く流す

or



正解を
Check!!



e-ヘルスネット

3 浜松市から お知らせ

市民の生涯にわたる
歯と口の健康づくりを推進するため、
「第2次浜松市歯科口腔保健推進計画」
を策定いたしました。



「健康はままつ21」

4 歯科健診がワンコイン！

【浜松市歯周病検診】

- ※20歳以上の浜松市民対象
- ※費用は500円
- ※QRコードから簡単お申込み！

お申込みは
コチラ→



発行元

浜松市健康増進課(歯の健康センター) 053-453-6129

お口の状態は個人で異なります。かかりつけの歯科医院で定期的に検診を受け、心配なことがあればその都度、歯科医師・歯科衛生士に相談しましょう。

手筒花火作



巻いた縄を竹の釘で固定する生徒たち。いずれも湖西市新居町で

伝統文化継承、

長の高村一幸さんや、元会長杉本芳雄さんらが手ほどきした。

生徒たちは、自動回転する縄巻き機に直径10センチほどの竹を握え付け、ござでグルグルと覆った上から縄を巻く作業を体験。金づちでたたきながらぎゅっと締め、緩まないように巻き初めと巻き終わりを竹のくきで留めた。持ち手にする「手縄」も筒の2カ所に取

一結構力強く、れいに固く巻けた」と話

9月までの計り、六つの保ちち回りで講師に節抜き、噴射口上げといったタ

る。校区住民にいた3年生の選

手筒花火作り

舞、手話、茶

スほどがある。

20歳代から歯周病検診

都田・常葉大 学生らに受診呼びかけ

浜松市と常葉大浜松キャンパスは25日、同市浜名区都田町の同キャンパスで、学生たちを対象に歯周病検診の受診を勧める啓発活動を実施した。

全身の病気に影響



上としていた歯周病検診の対象を、4月から20歳以上に引き下げた。

キャンパスの食堂前など2カ所での啓発活動では、学生有志4人と市浜名健康づくりセンターの歯科衛生士ら3人が啓発グッズを配った。健康プロデュース学部2年の小倉佑太さん(20)は「歯は重要。歯周病菌は20代前半にも感染すると報告されている。症状のない早い段階から歯と口の健康に関する知識の普及や啓発が必要」と検診の受診を呼びかけていた。

20歳以上の市民を対象に、自己負担金500円で受けられる歯周病検診(70歳以上の高齢者らは無料)は、5年ごとに受診券となるほか、郵送される。それ以外でも、受診券の申し込みは可。歯の健康センター11053(453)6129 (中野吉洋)

歯周病検診の啓発をする小倉佑太さん(左)と浜松市浜名区の常葉大浜松キャンパスで

歌や踊りなどで元気注入

「ほほえみの会」新居の介護センター慰問



湖西市のボランティア団体「ほほえみの会」が同市新居町のデイサービス「介護センターあらい」を慰問し、歌や踊りで利用者24人を楽しました。

会員9人が気合の入った衣装で訪問。山形民謡の花笠音頭やフラダンス、民謡といった多彩な演目を披露し、勢いあるよさこいや、詩舞「武田節」で引きつけた。利用者の男性は「サンキュ

ーベリマッ頑張って」を取りつ

会は20

代表の杉山

仲間の一体

「1カ月に

い」とい

ンターで

は浜松市、

市までを

観光施設

浜名湖

ひとこと



坂下 円花

将来の夢

私の将来の夢は、よつち園の先生になりたいと思ってます。なぜかというところ、子どもの夢をもっとい

をみるのが好きだからです。母がた。

(湖

よつち園の先生

わかるので、よ

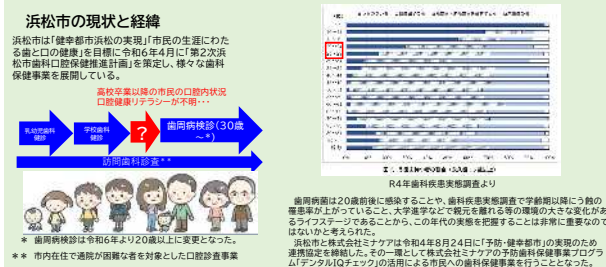
演題番号 大学生・専門学校生を対象にデンタルIQチェックを用いて実施した意識調査について

顔写真

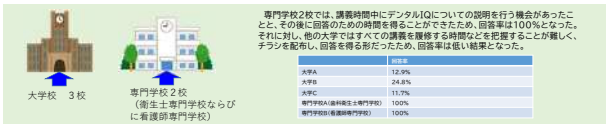
○伊藤 梓¹⁾, 川瀬 真由¹⁾, 戸谷 由里¹⁾, 坂下 美佳²⁾, 松本 幸子³⁾

- 1, 浜松市健康増進課 口腔保健医療センター
- 2, 浜松市浜名健康づくりセンター
- 3, 浜松市天竜健康づくりセンター

【目的】 浜松市では、乳幼児歯科健診、学校歯科健診、30歳以上に歯周病検診を実施し、市民の歯の健康維持の意識向上へとつなげている。しかし、高等学校卒業後を対象とする歯科健診はなく、その年代の口腔健康状態や口腔の健康リテラシーを把握する機会がなかった。歯周病菌への感染は20歳前後に感染することなど、高等学校卒業後は歯科的な観点から重要な年代であると言える。今回、(株)ミナケアの協力を得て、大学・専門学校生を対象としてデンタルIQチェックを用い、その年代の調査を行ったので報告する。



【対象】 浜松市内で協力を得ることができた3件(4574名)の大学校、2件(330名)の専門学校の在校生の内、回答の得られた1083名(回答率22.1% 男性254名 女性829名)



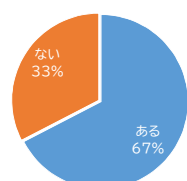
【方法】 実施期間：2023年4月5日～2023年6月14日(70日間) 実施方法：(株)ミナケアが提供する専用ウェブサイトを使用し、スマートフォンで回答する方式で、歯と口に関するアンケートを実施した。対象の学校にQRコードを配布し、回答を依頼。回収したものを分析した。

【結果】 デンタルIQチェックは(株)ミナケアが開発したツールで、36問のWeb問診を行うことで、利用者の歯科的なリスクを分析するものである。

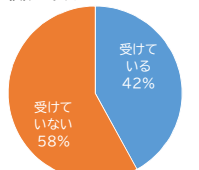
今回のデンタルIQチェックに協力を得られた者の内、5.2%が高リスク、37.4%が中リスク、52.4%が低リスク、5%がリスクなしとなった。デンタルIQでは、リスクの状況を①歯と体の健康、②歯科医院の選び方・かかり方、③丈夫な歯の作り方、④口内環境、⑤歯のおそうじ、⑥間食の摂り方に分類している。特にリスク者割合が高かったのは⑤歯のおそうじ、⑥間食の摂り方だった。



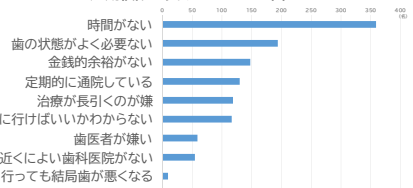
かかりつけ歯科医院があるか



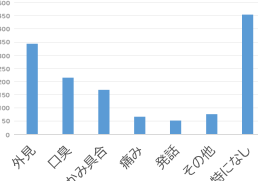
年に1回以上歯科医院で定期検診を受けているか



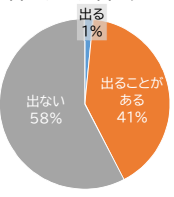
定期検診を受けていない理由



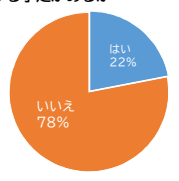
現在、自分の歯と口で気になることがあるか



歯をみがくと出血するか



1ヶ月以内に生活習慣を改善する予定があるか



【考察】 令和4年度に実施した浜松市の市民アンケート¹⁾では「かかりつけ歯科医で定期管理を受けている」者の割合は30.2%で今回の調査はいずれも高かった。そのことから中高年より歯科に対する意識が高い可能性があることが考えられた。回答者が大学・専門学校生という特性から、口腔内に気になることも特になくという回答が多かったが、それ以外に多かったのは「外見」「口臭」という対人面の要素が強いものであった。この年齢層へのアプローチとして重要な要素になってくるのが考えられる。他には口腔清掃に対する意識や間食の摂り方などに課題が多いという結果であったが、生活習慣の改善などは実践しようと思っていない者が多かった。

【結論】 歯周病や初期むし歯は自覚症状に乏しく、定期的な歯科健診を受けることが推奨される。今後この年代に対し、定期的な歯科健診の重要性の啓発を行うことが重要と考えられた。今後の啓発のために地域歯科医師会、他団体との連携を図っていくことも重要と考える。

【参考文献】 浜松市, 健康はままつ21, 84, 2024.

【謝辞】 本発表にあたり、(株)ミナケアの皆様、ご協力頂いた学校の関係者の皆様に深謝いたします。


口腔衛生学会 COI開示
発表者名: 伊藤 梓
演題発表に際し、開示すべきCOI
関係にある企業などはありません。

企業を対象とした歯周病検診の 受診啓発活動およびアンケート調査について

顔写真

○川瀬 真由¹⁾、伊藤 梓¹⁾、戸谷 由里¹⁾、坂下 美佳²⁾、松本 幸子³⁾
1、浜松市健康増進課 口腔保健医療センター
2、浜松市浜名健康づくりセンター
3、浜松市天竜健康づくりセンター

【目的】 歯と口の健康は、心身の健康の保持増進や生活の質の向上に重要な役割を果たしている。浜松市では、市民の生涯にわたる歯と口の健康づくりに関する施策を推進しており、30歳以上の市民に対し、歯周病歯科検診を実施している。しかしながら、歯周病歯科検診の受診率は低い状態となっている。浜松市では令和2年度に市内の企業を対象に歯周病検診受診啓発を含めた口腔の健康リテラシーに関するアンケート調査を実施した。その後3年間、継続して普及・啓発活動を行い、令和5年度に再度調査を実施して結果を比較したので報告する。



【対象者】
浜松市内に住所を有する30歳以上の市民
(※R6. 4. 1から20歳以上)

【受診券】
・年度末(3月)に一括送付者
次年度末(3月31日)時点で、
30・35・40・45・50・55・60・65・70歳になる者
【自己負担金額】年齢以外の対象者は随時受付・発送
500円

【方法】 浜松市内健康づくり推進団体及び浜松ウエルネス推進協議会参加団体を訪問し、歯周病検診に関するポスター掲示やチラシ配布を行い、希望者には受診券を発券した。さらに、歯周病検診の認知度と口腔の健康リテラシーを知るためのアンケート調査を行った。そのうち、令和2年度から令和5年度まで継続して協力の得られた142件の企業から3490人のアンケートを回収し、分析を行った。

企業での歯周病検診受診啓発の様子



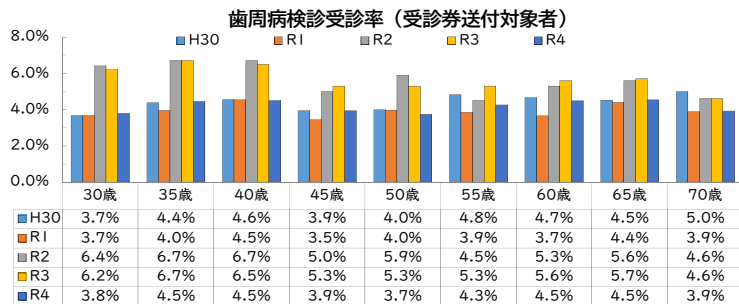
歯周病検診に関する掲示物一覧



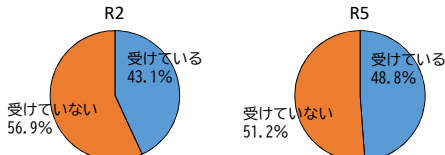
アンケート調査項目

- ◎かかりつけ歯科医院はありますか？
- ◎定期的に歯科受診をしていますか？
(検診、メンテナンス、歯みがき指導など)
- ◎浜松市歯周病検診制度(30歳以上対象)を知っていますか？

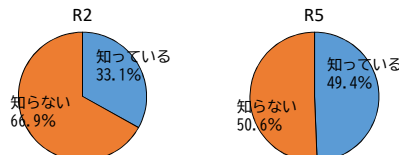
【結果】 かかりつけ歯科医院で定期的に検診を受けている人の割合は令和2年度に43.1%であったが、令和5年度では48.8%と増加した。市の歯周病検診の制度を知っている割合は令和2年度に33.1%であったが、令和5年度では49.4%と増加した。一方で、歯周病検診の受診率は平成30年度と令和元年度は約4%であったが、令和2年度と令和3年度は約6%に増加した。しかしながら令和4年度は再び約4%に減少した。



かかりつけ歯科医院で定期的に歯科受診をしているか



浜松市歯周病検診制度を知っているか



【考察】 各企業に対し啓発を開始してから、かかりつけ歯科医院で定期受診をしている者と歯周病検診を認知している者の割合は増加した。そのことから企業に対しての啓発は有効だったものと思われる。しかしながら、歯周病検診の受診率は全ての年代で令和2年度、3年度で上昇し4年度は減少した。歯周病検診受診率の増減の理由は不明だが、令和2年度、3年度はコロナ禍の時期となり、その社会的背景が要因となった可能性がある。また令和5年度は約半数がかかりつけ歯科医院を持ち定期受診をしていた。その定期受診をしている層に関しては必ずしも歯周病検診を勧奨する必要はなく定期受診を続けることで口腔の健康管理を続けられると考える。今後、市として重要なことは、かかりつけ歯科医を持たず定期受診をしていない役半数の層に対し、口腔健康管理の重要性を啓発していくことと考えられた。

【結論】 歯周病は20歳前半に感染することが多く、自覚症状が乏しい疾患であることから、若年代から定期的な歯科受診が推奨される。今後も引き続き、浜松市歯周病検診制度の利用を普及・啓発するとともに、発券方法の検討及びより多くの市民にかかりつけ歯科医院での定期的な歯科受診を推奨していく必要がある。